

第37次宮城県社会教育委員の会議兼第13次宮城県生涯学習審議会 意見書【概要】

1 審議の背景

1 第36次宮城県社会教育委員の会議兼第12次宮城県生涯学習審議会の意見書から (R4. 4)

- ・ 審議テーマ
「新たなステージに向けたオールみやぎの取組～継承と創造によって持続する地域へ～」

<目指す姿>

「住んで楽しい！学んで楽しい！関わって楽しい！」私たちの地域

<提言の視点>

「学びづくり」

地域社会における様々な課題や人びとの多様な学習ニーズに対応していく

- ・ 地域に生きる学びや実践の支援・伴走 等

「人びとづくり」

社会教育を推進していくためのキーパーソンとなる人びとやこれからの地域社会を担う人材を育成する

- ・ 地域の未来を担う若者人材の育成 等

「絆づくり」

世代や性別、障害の有無などにとらわれず多様な人びとがつながり、よりよい地域をつくる

- ・ 多様な主体との連携・協働の推進 等

2 国の動向

○「第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」 (R4. 8)

- ・ これからの社会の形成者となる子供・若者世代の意見を表明する機会を保障しながら、その社会参画を促していく生涯学習・社会教育の機会づくりが重要

○「第4期教育振興基本計画」 (R5. 6)

- ・ 社会制度を持続可能なものとし、活力あふれる社会を実現していくため、多様な人材の社会参画を促進
- ・ 生涯学習・社会教育を通し、地域コミュニティを基盤としてウェルビーイングを実現

3 宮城県の状況

- ・ 人口減少、少子高齢化
- ・ 核家族化や共働き世帯の増加
- ・ 震災による地域での交流機会の減少
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行による人的交流の減少、体験活動機会の減少
- ・ 震災を契機として立ち上げられた団体等による若者の活動の活性化

2 審議テーマについて

審議テーマ 世代をつなぐ協働力を育む～若者ととともに～

『「住んで楽しい！学んで楽しい！関わって楽しい！」私たちの地域』を実現するためには、これからの地域社会を担っていく若者の参画が必要であることから、本審議テーマを設定

3 若者の活動が活発な事例の共通点

(1) 支援者・伴走者の存在

- ・ 若者と対等な立場で活動をサポートする
- ・ 若者との対話を大切にする
- ・ 若者が意欲を持ち、継続して活動に取り組むことができる環境を整える

(2) 安心感を抱ける関係づくり

- ・ 若者の声に耳を傾け、若者の思いを大切に
- ・ 悩みや困りごと共感的に話を聴く

(3) 達成感・充実感を得られる機会づくり

- ・ 若者の主体性を尊重し、信じて任せ、見守りながら伴走する
- ・ 若者の意欲に応えるため、地域住民や企業に協力を求め、学びの場を新たに作り出す

(4) 多様な大人との出会いの場

- ・ 生涯学習・社会教育を通した多様な価値観・経験を持つ大人と出会い
- ・ 世代を超えた学びの循環が生まれている

若者の積極的な参画を促すためには、大人の側が「若者と対等な立場で対話しながら伴走する」という意識を持ち、若者の主体性を尊重しつつ、若者が参加しやすい環境を整備していくことが必要となる。

若者の参画をサポートできる人材の育成や若者の参画を促すための情報収集・情報発信、大人が若者ととともに学び合う機会の充実等について提言する。

4 提言

提言1 若者の参画をサポートできる人材の育成 (対話を通した大人の意識改革／大人の協働力を高める取組)

<「若者と対等な立場で対話しながら伴走する」という意識の醸成>

- ◎対話や熟議等、若者のサポートに関する研修機会の充実
- ◎若者をはじめ多様な世代との対話を通して視野を広げる機会の充実
- ◎若者の活動をサポートする支援者・伴走者のネットワーク強化
- ◎多様化する若者の学習ニーズに対応するための研修機会の充実
- ◎生涯学習・社会教育関係者等の継続的な学習機会の確保

提言2 若者の活動等に関する情報収集／若者に届く情報発信

<若者に関する情報収集>

- ◎地域の若者やグループ等についての情報収集
- ◎若者が発信する情報の把握

<若者に届く情報発信>

- ◎若者のデザインやスキルを活かした情報発信
- ◎SNS・Web等を活用した情報発信
- ◎若者の活動について地域への積極的な情報発信

提言3 若者ととともに学び合う機会の充実

<若者の主体性が尊重され、大人が若者ととともに学び合う場の形成>

- ◎対話を通して相互に学び合う関係づくり
- ◎対話を通した地域課題の共有等
- ◎若者の視点や発想による既存事業の見直し
- ◎様々な活動主体同士をつなぎ、若者の活動機会を拡げる取組

若者の参画促進

「住んで楽しい！学んで楽しい！関わって楽しい！」私たちの地域